

(様式1)

有市教総C第448号

令和元年10月7日

文部科学大臣 殿

有田市長

望月 良男 印

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

有田市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成29年度

(担当)

有田市教育委員会教育総務課

住所：和歌山県有田市箕島

電話：0737-83-1111

(様式2)

### 3. 事後評価の実施

#### (1) 実施時期

令和元年9月

#### (2) 評価の方法

教育委員会教育総務課内において事後評価を行い、次期施設整備計画の検討を実施した。

### 4. 総合的な所見

施設整備計画の事業については、計画どおり実施することができた。次年度以降についても、計画的かつ効率的に事業の実施に努めることとする。

### 5. 各目標の達成状況

#### (1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

田鶴小学校の屋内運動場において、計画どおり大規模改造を実施したことにより、老朽化対策を完了することができた。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

保田小学校は災害発生時に避難所として使用されるが、トイレの洋式便器設置数が少なく、避難者が利用しづらい環境であったが、計画どおり整備したことにより避難所機能を向上するとともに、トイレの環境を改善することができた。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
田鶴小学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	R	H30.2～H30.3	H30.11.12		
保田小学校	(2)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.2～H30.3	H31.2.13		